

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ちろば教室		
○保護者評価実施期間	2025年2月20日 ～ 2025年3月15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年3月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年9月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日常生活での基本的生活習慣に力を入れて支援している。	一人ひとりに合った方法で基本的生活習慣が身につくように毎日の積み重ねを大切に支援にあたっている。	子ども達の状況をスタッフ間でしっかりと共有し、次につながるように丁寧に支援をしていく。
2	季節に応じた行事を実施している。	色々な行事を経験する中で達成感や喜びにつなげ生活経験の幅が広がるようにしている。	様々な経験ができるように活動内容をスタッフ全員で考えていく。
3	自主事業でPT、OT、ST、MTを実施している。	それぞれの専門的な視点からアドバイスを受けることが出来、日々の支援に生かしている。	より質の高い支援が提供できるように、療法士の先生方からのフィードバックを全スタッフで共有できるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	地域の保育園との交流を実施しているが、時間、日程が少なく、交流できる子が限られていた。	・保育園交流については、方法を話し合っ充実させていく。 ・地域の情報を得て、地域との関りが持てる取り組みを考えていく。
2	ホームページでの情報発信が少ない。	毎月お便りと行事ごとに紙での情報を発信しているが、時間的な余裕や担当できるスタッフがいないこともあり、ホームページでの情報発信が少ない。	保護者の方のニーズをふまえて、ホームページにのせる内容を考え情報をあげられるようにしていく。
3	きょうだいへの支援活動が少ない。	行事には一緒に参加できるものがあるが、人手や体制の問題等課題がある。	きょうだい支援について出来る活動があるか、ニーズは何か等情報を得て人手や体制などふまえた上で何が出来るのか、出来そうな活動を探っていく。